

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		緊急通報体制整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部 健康福祉部 所属課 高齢者支援課 所属班 高齢者保険班	課長名 後藤博康 担当者名 佐藤里佳 (内線) 2114					
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			合志市在宅老人等緊急通報システム事業実施要綱						
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			法令根拠						
予算科目	会計	30	款	11	項	3	目	1	事業連番	10487	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 —
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 6 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 一人暮らし老人等に緊急通報装置を貸与し、急病又は災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応が取れる体制を整備する。 利用者が緊急時に、熊本安全センターへ通報すると、24時間体制で受付を行っているため、相談業務、救急車の手配、協力員等への連絡が出来る。 【業務の流れ】 緊急通報装置利用申請書を提出し、実態調査を行い、ケア会議で審査し可否を決定する。可の場合は委託事業所へ連絡、調整をする。 【主な予算費目】 委託料 事業は熊本安全センターへ委託												

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 緊急通報装置を貸与し、緊急時に連絡すると24時間対応が可能なシステムの委託料。利用件数339件	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様。 21年度より、課税世帯は設置料金と移設料金を自己負担してもらう。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 一人暮らしの高齢者、高齢者世帯	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 実態調査数 件 イ 通報装置を設置した件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 緊急時の連絡を容易にすることで安心の提供及び孤独死を予防できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア ひとり暮らしの高齢者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 緊急通報があった件数 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 介護サービス利用者の満足度 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				3,670	3,670	3,670	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円				1,835	1,835	1,835		
		地方債	千円								
		その他	千円				1,836	1,836	1,836		
		繰入金	千円	8,531	8,504	9,029	8,547	1,835	1,835		1,835
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	8,531	8,504	9,029	8,547	9,176	9,176	9,176		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4		4
	延べ業務時間	時間	282	134	134	274	134	134	134		
(B)人件費計	千円	1,120	533	533	1,091	533	533	533	533		
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,651	9,037	9,562	9,638	9,709	9,709	9,709	9,709		
活動指標	ア 件 イ 件		36 34	25 24	45 40	46 39	46 40	45 40	45 40	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア 人 イ 人		560	570	580	580	600	600	600		
成果指標	ア 件 イ 件		29	19	35	34	35	35	35		
上位成果指標	ア % イ %			69.7	80	69.7	80	80	80		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

孤独死を防止する意味で、地域ささえあい事業として平成6年度より開始した

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

高齢者の単身世帯が増加しているため、申し込み件数が増加していたが、最近の設置件数はほとんど変わらない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

入院等の手配もしてもらえるので、大変助かっているという声がある。

事務事業名	緊急通報体制整備事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 緊急時の連絡を容易にすることで安心の提供が出来る。緊急時の連絡を容易にすることで孤独死を予防できることにより、不自由なく地域社会で生活できるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 核家族が多くなっている現在、単身高齢者の見守りのため、税金を投入することは仕方のないことである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 24時間体制をとっており、何かあればすぐ連絡できる体制を維持していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 廃止すると利用者は在宅生活が不安となる。また、緊急時の対応や、安否確認ができないため孤独死となる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 高齢者対象の緊急通報体制整備事業は他にない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在の利用規定には所得要件がないため、所得の高い人については自己負担をもらうようにする検討が必要である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 委託で行っているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ケア会議で審査しているため。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 24時間体制をとっており、何かあればすぐ連絡できる体制を維持していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

自己負担を取るようになったため、利用者の理解が必要。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)